



どうやって海外校とやり取りするの？

電子フォーラム



海外校と1対1でやり取りができるインターネット上のフォーラムを使ってコミュニケーションをとります。自己紹介や地域の紹介、協働学習のテーマについて調べたことや考えたこと、壁画の構図の相談や制作の様子など、プロジェクト全体を通してフォーラムで情報を共有します。写真を多く使うことで、知らない世界の様子をリアルに伝え合うことができます。

テレビ会議



海外校と時差が少ない学校では、ポイントとなる学習活動の場面でテレビ会議を行います。顔と顔を合わせて直接話をするにより、相手との距離が一気に縮まり、友だち関係を作ることができます。世界にできた友だちにもっと日本のことを伝えたい、もっと相手のことを知りたいという思いが学習意欲を高め、国際協働学習が深まります。

ビデオレター



時差が大きくてテレビ会議を実施できない学校では、ビデオレターを作成してインターネット上にアップしたり、DVDにして送ったりして、海外校と親密な関係を作る工夫をしています。動画は顔の表情や声から相手の思いが想像できて画像より親近感が増します。

カード交換



手書きのカードはフレンドシップを深めます。絵や写真を付けた自己紹介カードを作成して送ったり、クリスマスカードや年賀校をお互いの生徒の名前を入れて送り合うと、個人のつながりが強まり、仲間意識を持って国際協働学習を進めることができます。